

*Luxman*

HEADPHONE AMPLIFIER

P-1

*Owner's Manual*

このたびは、ラックスマンのヘッドフォン・アンプリファイヤーP-1をお求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこのオーナーズマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただくことで本機の性能が十分に発揮され最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただけることと思います。

なお、お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

## 目次

使用上のご注意 .....	1
各部の名称と用途 .....	2
接続方法および接続図.....	4
P-1 BLOCK DIAGRAM .....	6
規格.....	7
アフターサービスと品質保証について .....	8
修理に出される前に .....	9

## アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。

とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

## 入力機器接続時のご注意

本機とコントロールアンプなどの入力機器を接続するときには、本機と入力機器の電源スイッチを必ず切っておいてください。電源が入ったまま接続すると、大きな雑音が発生することがあり、耳に傷害をおよぼす可能性があります。また、本機の入力端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。コントロールアンプなどの入力機器の入出力端子に差し込むピンプラグも同様です。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N比が悪化する原因になります。

## 保護回路について

本機にはアンプやヘッドフォン保護のため、過電流検出、異常高温検出、DC出力検出による保護回路を設けています。この保護回路が動作した場合、ヘッドフォン端子への出力を中絶するとともに、パワー・インジケータが橙色に点灯し、本機がミュート状態に入ったことを表示します。保護回路が動作した原因が消滅するとパワー・インジケータが再び青色に点灯し、動作状態に復帰します。保護回路がたびたび動作するときは、弊社サービス・センターにご相談ください。

## 電源 ON 後すぐには音は出ません

本機にはヘッドフォン端子への出力を中絶するタイム・ミュート回路が組み込まれているため、電源 ON 後すぐには音は出ません（本機の場合、パワー・インジケータが橙色に点灯して準備動作中であることを示します）。

このあいだに本機の音量ボリュームやコントロールアンプなどの入力機器の音量ボリュームを大きく右に回していると、タイム・ミュートが解除され動作状態になったとき（本機の場合、パワー・インジケータが青色に点灯して動作状態になったことを示します）、急に大きな音が出てくることになります。音量ボリュームは必ず小さく絞っておき、ヘッドフォンから音が出はじめてから適度なレベルにセットしてください。

## 修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

## お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

## 1. 電源スイッチ (POWER)

電源をON/OFFするスイッチです。  
配線、接続時には必ずスイッチをOFFにしてください。

## 2. パワー・インジケータ

電源スイッチをONした直後の一定時間は準備動作中で橙色に点灯します。(この間は音がでません)  
タイム・ミュート機能が解除され動作状態になると青色に点灯します。  
また、ヘッドフォン出力に過電流とDC電圧が発生した場合、本機が異常高温になった場合、このインジケータが橙色に点灯し、ミュート状態になったことを表示します。原因が取り除かれると再び青色に点灯し動作状態になります。  
たびたび、動作中にこのインジケータが橙色に点灯する場合は、弊社サービス・センターにご相談ください。

## 3. 入力セクター・スイッチ (input)

コアキシャル (ピンプラグ) 入力とバランス (キャノンコネクター) 入力の切替スイッチです。  
スイッチを押し込むとバランス入力に接続され、もう一度押し出て張らすとコアキシャル入力が接続されます。

- 1 : コアキシャル入力を選択
- 2 : バランス入力を選択

## 4. ヘッドフォン・ジャック

ヘッドフォン・プラグを差し込みます。  
3つのジャックは、同じ音楽信号を出力し、8Ωのヘッドフォン3本まで動作可能です。

## 5. バランス・ボリューム・パス・スイッチ (pass)

バランス・ボリュームをバイパス (飛び越し) し、よりクオリティの高い音楽を楽しむ場合に、このスイッチをONにします。

---

この時、バランス・コントロール機能は動作しません。

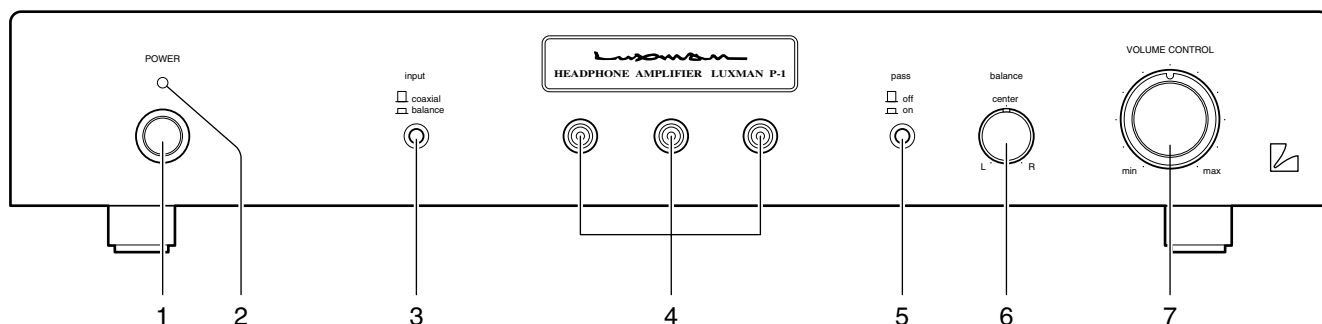
---

## 6. バランス・ボリューム (balance)

左右の音量をコントロールするボリュームで、左に回すとL ch (左チャンネル) が強調され、右に回すとR ch (右チャンネル) が強調されます。  
通常はセンター位置で使用してください。

## 7. ボリューム・コントロール (VOLUME CONTROL)

本機のヘッドフォン出力レベルをコントロールするボリュームです。  
最初は左に回しきり、音が出始めてから、徐々に右に回し、好みの音量に調節してください。



## 8. バランス入力端子 (BALANCED)

キャノンコネクターによるバランスケーブル用の入力端子です。コントロールアンプなどの入力機器からの出力をこの端子に接続してください。

## 9. バランス入力位相切換スイッチ (PHASE)

本機に入力されたバランス信号の位相を反転 (180°) させるためのスイッチです。normal では正相、reverse では逆相になります。

- normalポジション…① GROUND  
② COLD  
③ HOT
- ▢ reverseポジション…① GROUND  
② HOT  
③ COLD

## 10. コアキシャル入力端子 (COAXIAL)

RCA ピンケーブル用の入力端子です。コントロールアンプなどの入力機器からの出力をこの端子に接続してください。

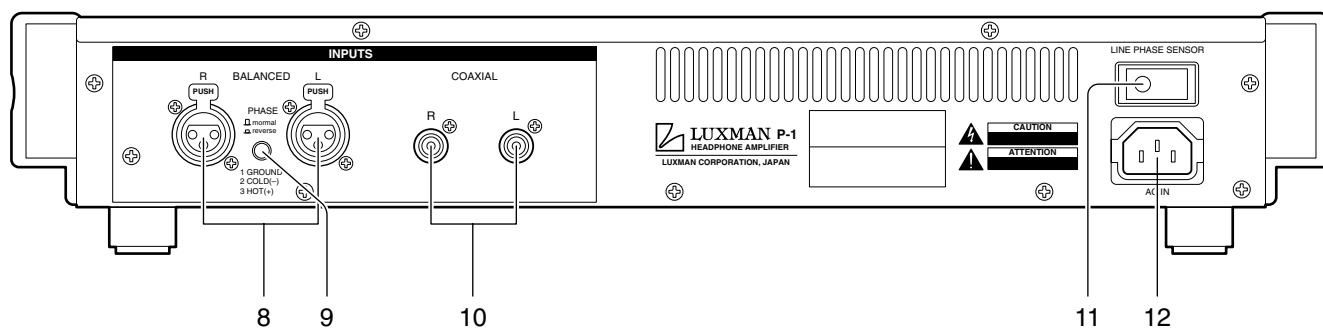
## 11. ライン・フェーズ・センサー (LINE PHASE SENSOR)

電源ケーブルを AC コンセントに差し込むときに、電源の極性を確認するセンサーとインジケータです。電源ケーブルを AC コンセントに差し込んだあとに指でセンサーに触れ、インジケータが消えたままであれば正常な極性です。インジケータが点灯する場合は、電源プラグのコンセントへの差し込みを逆にしてください。

電源極性のチェックは他の機器との接続前に行ってください。マンションなど、電源がフローティングされている場合は、極性が変化しないこともあります。この場合は、どちらの方向でもかまいません。

## 12. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源は AC100V 家庭用コンセントをご使用ください。



### 接続する前に

他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側（穴が3つある方）を本機のACインレットに接続してください。

---

接続するときは、おもわぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源スイッチと入出力機器の電源をすべてオフにしてください。

---

### 電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、ACプラグをリスニング・ルームなどにあるAC100Vのコンセントに差し込んでください。電源ケーブルを差し込むときには、ライン・フェーズ・センサーを指先で軽く触れ、インジケータが消える方向に差し込んでください。

---

マンションなどのコンセントではACプラグを差し替えても点灯したまま、消えたままのことがあります。この場合、どちらの方向でもかまいません。

---

### 入力機器の接続

光ディスク・プレイヤー、コントロールアンプなどの入力機器の出力端子もしくは、コントロールアンプの録音出力（REC OUT）端子と本機の入力端子を接続します。

入力機器の出力をRCAピンケーブルで取り出した場合は、本機のコアキシャル入力端子に、バランスケーブル（キャノンコネクター）で取り出した場合は、本機のバランス入力端子にそれぞれ接続します。このとき、入力セレクター・スイッチは、接続した入力または、お聞きになりたい入力にセットします。

コアキシャル入力端子に接続した場合はcoaxialに、バランス入力端子に接続した場合はbalanceにセットします。

### ヘッドフォンの接続

ヘッドフォン・ジャックにお手持ちのヘッドフォンのプラグを差し込みます。ジャックは3ヶ所ありますが、どれも同じ音楽信号を出力していますので、お好みのジャックに差し込んでください。

---

ヘッドフォンの適合インピーダンスは、8Ωから600Ωです。

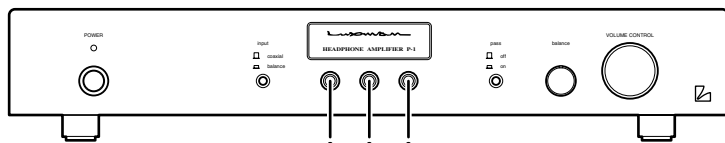
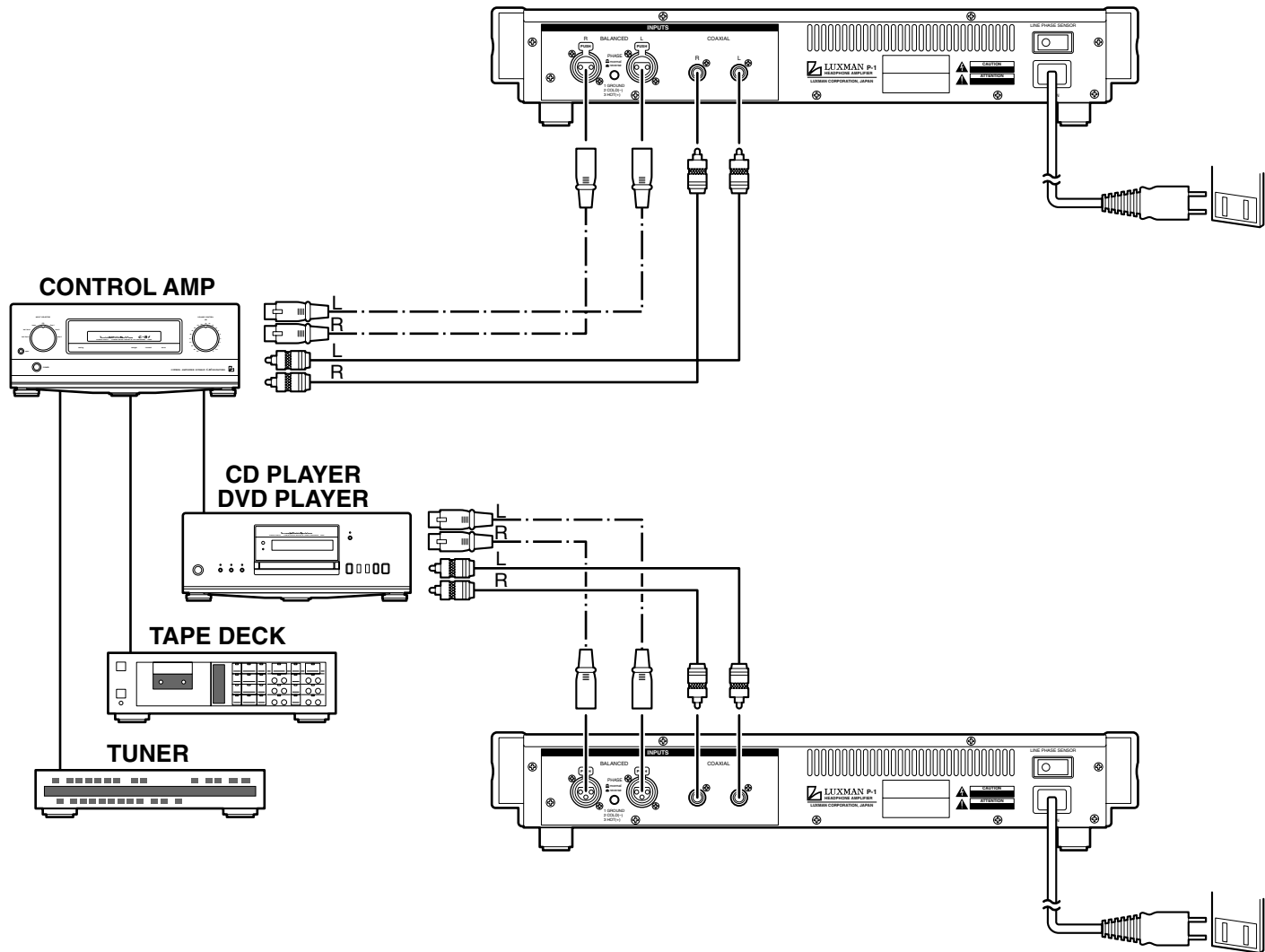
この範囲のヘッドフォンなら同時に3本まで使用可能です。

---

本機は高出力なので、音量には十分気をつけてください。

おもわぬトラブルを防止するため、電源のON/OFF時、ヘッドフォン・プラグの抜き差し時には、必ず音量ボリュームを左に締め込んでください。

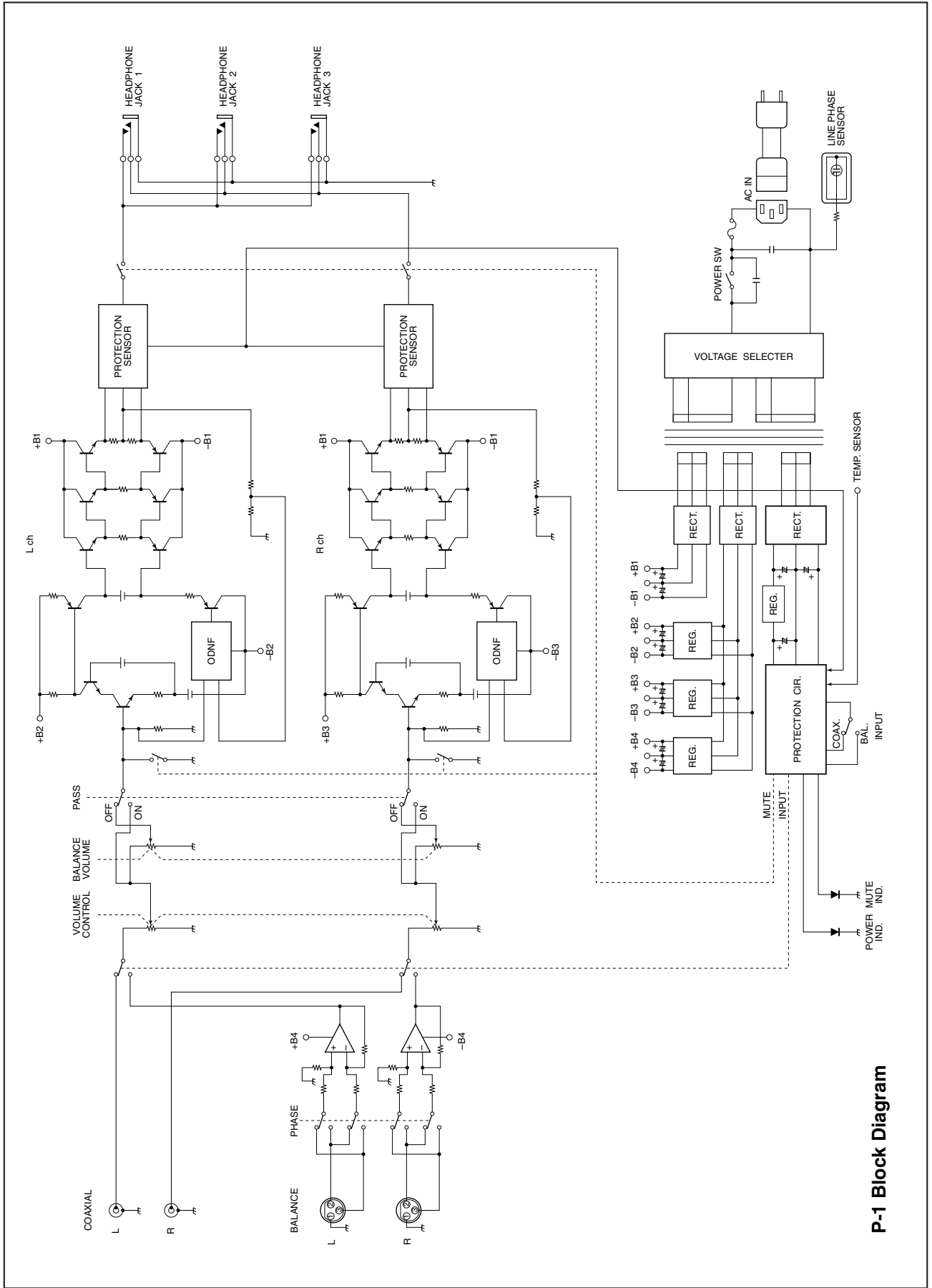
# 接続方法および接続図



## HEADPHONE

感度の異なるヘッドフォンを同時にご使用になる場合は、感度の小さいほうに音量を合わせると感度の大きいほうの音量が非常に大きくなる場合がありますので、音が出始めてから感度の大きいほうで好みの音量に調節してください。

# P-1 BLOCK DIAGRAM



P-1 Block Diagram



連続実効出力	1 W/32 Ω 1本 (4 W/8 Ω 1本, 12 W/8 Ω 3本)
入力感度	1 V/1 W/32 Ω (1 V/4 W/8 Ω)
入力インピーダンス	COAXIAL 23 kΩ (VOLUME CONTROL max., pass sw off, balance center) BALANCED 66 kΩ
全高調波歪	0.008 % (1 kHz, 1 W/32 Ω) 0.025 % (20 Hz ~ 20 kHz, 1 W/32 Ω)
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz +0, -0.1dB (1 W/32 Ω) 10 Hz ~ 100 kHz +0, -0.5dB (1 W/32 Ω)
S/N 比	108 dB (IHF-A)
付属装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヘッドフォン出力端子(×3)</li> <li>• ボリューム・コントロール</li> <li>• バランス・ボリューム</li> <li>• バランス・ボリューム・パス・スイッチ</li> <li>• 入力セレクター・スイッチ</li> <li>• 電源スイッチ</li> <li>• 電源 ON インジケータ(プロテクション・インジケータ)</li> <li>• COAXIAL 入力(RCA)</li> <li>• BALANCE 入力</li> <li>• BALANCE 入力位相切替スイッチ</li> <li>• AC イン</li> <li>• ライン・フェーズ・センサー</li> </ul>
付属品	専用電源ケーブル, 安全上のご注意, 取扱説明書, 保証登録書
電源電圧	AC 100 V (50Hz/60Hz)
消費電力	31 W (電気用品安全法の規定による)
最大外形寸法	467(幅)×80(高さ)×408(奥行き)mm
重量	10.0 kg (本体)

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもありますか、ご容赦ください。

ラックスマン製品の保証期間は購入日より起算して2年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機のパッケージケース内に入っていますので、お買い上げ販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧ください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費等を戴くことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを押しても電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。</li> <li>電源プラグがACインレットから外れているか、確実に差し込まれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。</li> <li>電源プラグをACインレットへ確実に差し込む。</li> </ul>
電源は入るが音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリューム・コントロールが絞られている。</li> <li>接続が確実に行われていない。</li> <li>ピンケーブルとバランスケーブルの入力設定が合っていない。</li> <li>コントロールアンプの入力セレクターが合っていない。</li> <li>コントロールアンプなどの入力機器のボリューム・コントロールが絞られている。</li> <li>コントロールアンプなどの入力機器のREC OUT出力がOFFになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリューム・コントロールを調節する。</li> <li>接続を確実に行う。</li> <li>使用するケーブルの種類に入力セレクター・スイッチを正しく合わせる。</li> <li>コントロールアンプの入力セレクターをセットし直す。</li> <li>コントロールアンプなどの入力機器のボリューム・コントロールを調節する。</li> <li>REC OUT出力をONにする。</li> </ul>
片側だけ音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力機器もしくは本機のバランス・ボリュームが左右どちらかに片寄っている。</li> <li>接続ケーブルの片側だけが接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バランス・ボリュームをセンターもしくはお好みのバランスに調節する。</li> <li>正しく接続する。</li> </ul>
バランス・ボリュームが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バランス・ボリューム・パス・スイッチがONになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バランス・ボリューム・パス・スイッチをOFFにする。</li> </ul>
ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続ケーブルのアース側が接触していない。</li> <li>他機器の電源トランスから誘導ノイズを受けている。</li> <li>ヘッドフォン・ケーブルと電源ケーブルが接近しすぎている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続を確実に行う。</li> <li>他機器から離して設置する。</li> <li>ヘッドフォン・ケーブルと電源ケーブルを離す。</li> </ul>



**ラックスマン株式会社**

本社 〒105-0022 東京都港区海岸 2-5-23

AG00987C11A  
Printed in Japan